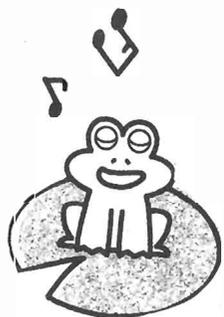


## も く じ

4月例会報告	.....	1
5月例会報告	.....	1
ミ二講演会 ～野鳥の勉強会～	.....	1
6月例会報告 市長との懇談会—①	.....	2
〃 市長との懇談会—②	.....	4
〃 高須賀市長との面談での質問<ゴミに関して>—③	.....	5
愛媛新聞掲載文 ～プラ容器包装ごみ松山市の処理最低評価～	.....	6
ミュージカル「坊っちゃん」を鑑劇して	.....	7
雑感	.....	9
愛媛新聞掲載文 ～つながったピース「明日の神話」修復完了上・中・下～	.....	11
〃 ～東温・「となり町戦争」ロケ～	.....	14
〃 ～需要のびるヤシ油 熱帯林破壊の一因に～	.....	15
おしらせ	.....	15



## 4月例会報告

4月4日(火)午前10時から林宅にて例会開催。出席者は4名。

- ① コーブえひめで、ジャコウアゲハの絵葉書販売の宣伝をするにあたり、森川さんが絵葉書申込書を作成してくれた。早速FAXにより申し込みあり。
- ② 掲示の許可をもらった絵葉書パネルを霞の森公園のトイレにつけに行った。
- ③ 食草ウマノスズクサの保護地につき、国土交通省松山河川国道事務所重信川出張所へ杭を打った部分以外の草刈りを依頼に行く。以前から私達の活動に協力的な出張所の職員多田さんが、まだ転勤でなくいらっしまったので、快く了承してくださる。

## 5月例会報告

5月30日(火)11時15分から林宅にて例会開催。7名参加。久しぶりに沢山集まった。ある会員の初孫の話、公務員の退職金の話、ある会員が引っ越すにあたり、土地を購入し家を建てるという話、絵葉書売上代金より、会からの仮払金10万円のうち合計3万円返金あり。

絵葉書のパネルを見た日本野鳥の会の会員から電話あり。何か一緒に活動できないかとのこと。手始めに、一度会って、お話をうかがうことになる。6月7日夜7時から中央公民館にて。

### ミニ講演会 ~野鳥の勉強会~

ジャコウアゲハの8枚の絵はがきを並べて貼り付けたポスターを作成して東温市内7ヶ所に掲示しています。

ポスターを見た人から電話をいただきました。

その方は東温市内の野鳥と、ほ乳類に詳しく、写真もたくさん撮っておられたので、早速「野鳥の勉強会」ということでミニ講演会をお願いしました。快く引き受けていただいて6月7日夜、町民会館で写真を見ながら説明をお聞きしました。この東温市にこれほど多くの種類の鳥がいることに驚きました。このような人とのネットワークができたことは、絵はがきを作った私たちの目的が徐々に達成しつつあると実感しました。

絵はがき現在135部売れています。

(K・K)

## 6月例会報告

### 市長との懇談会—①

かねてより申し込んでいた市長との懇談会がついに実現、6月27日(火)市庁舎に於いて午前11時15分から行われた。

6月27日、待ちに待った市長との懇談会。当日は5分前に役場ロービーに集まり、11時15分には揃ってお目にかかる手はずになっていたが、連絡の不備か少し遅刻してしまった。会員5名。会議室には、市長を始め、担当部局の部長5名の方が、ずらりと並び対応して下さった。

始めに私達の会の設立経緯、趣旨、過去の活動及び現在の活動についてお話しする機会をいただく。三ヶ村泉とジャコウアゲハの絵葉書、『蝶のくる庭』、50号記念会誌、過去3回分の会報をお渡しする。

その後、市長の現在の姿勢、考えをうかがう。市長は『たかすか功を囲む懇談会』というパンフレットに書かれている項目にしたがって熱く今の思いを語って下さった。

- ① 行政のスリム化・効率化と徹底した職員の意識改革  
部長会・課長会の頻繁な開催 人材教育に努める
- ② 新時代にふさわしい住民主役の行政の確率  
女性の登用を増やしているとのこと (3割)
- ③ 人が活力を生む未来型産業のまちづくり  
地産地消にとどまらず地産智商運動の推進  
地産智商とは圏域外に地元産のアイデア商品を持って行って売  
という意味とのこと・・・例) 遠赤青汁、有機遠赤ケール  
包丁の要らない野菜 (既にカットされている野菜を売る)  
食べない米 (お酒などにする) 等印象的な話が出た
- ④ 人と自然が調和する環境のまちづくり  
坊ちゃん劇場の話・・・市長自ら後援会長を務め、宣伝活動を行  
っているとのこと 芸術文化元年と位置付け観光とも結びつけ  
て考えたい  
映画「隣町戦争」のロケ地としての協力もその一環 地域経済の  
活性化を図りたい
- ⑤ 人にやさしい健康・福祉のまちづくり  
愛大病院・愛媛病院等との連携強化、四国ガンセンターも隣接す  
る地の利 住みやすさで上位に行くのは病院の存在が大きい
- ⑥ 人を育て、人が輝く教育のまちづくり  
人材が大切、双海町の若松さんのような人がいれば市は変わる
- ⑦ 人が住み、人が集う安全・安心なまちづくり  
消防・耐震・非行改革・危機管理に力をいれている。  
いずれにしても財源が必要なので、現在の自主財源45%から50%に  
引き上げを図りたいとのことだった。

その後、予め会員の質問を集めて、提出していた質問事項にそつてうかがう。市長は、退席なさると聞いていたが、最後までつきあつてくださった。以下、それぞれの会員とのやりとりを記す。(T・H)

**(外国人の子弟を対象に支援員を置く予定は?)**

教育委員会に調べさせたが、現在対象児童は 4 名、すべて日本語が堪能(伊予弁も話す)だと聞いているので、その予定はない。(市長回答)

**(現場では実際困っているとも聞くが)**

日本に来る外国人は日本語を習つて来るべき。障害者福祉にお金をかけるのと 4 人しかいない外国人児童のためにお金を掛けるのと比べたら前者にお金をかけるのは必然か。

(全く問題ないと考えるのではなく、常に頭の片隅に入れておいていただきたい。)頭の隅に入れておく。

**(簡易水道から上水道への移行予定は)**

重信は平成 21 年、川内は平成 29 年の予定(担当部)

**(ミヶ村泉をどうするかについての審議会が行われているようだが、メンバーはどのような人たちか、今後泉をどうしていくのか)**

全部で 28 名。学識経験者として愛大農学部<sup>収入</sup>の櫻井先生、東雲大学の松井先生、水利組合、環境団体として「水をきれいにする会」の武井糸さん、エコタウン、女性会議、NEWS の久保永さん等にも入ってもらっている。今後は、恐らく、堆積した土を 1M ぐらい掘るということになる。環境に配慮して行う。(担当部)

**(合併前と後のスタッフの配置状況は?)**

新規採用はずつと控えている。それにより全体としては純減。議員は確実に減った。助役を無くした。(T・H)

**(定例議会の一般質問の日には、議場へ傍聴に行ったり、家でインターネット中継を見たりする。中継場面の音声は議場で聞くよりもよくわかるが、映像はパソコンの中央の小さく映るが、ほとんど分からない状態、回線も 5 回線ということだが、今後改善していく予定は?)**

市民からぼつぼつそのような声も聞くが、相当な経費がかかる。現在は旧重信時代のそのままを使用している。(担当部)

**(ごみステーションの管理は各組・区に任せているようだが、志津川区では当審制にしている(年に 1~2 度回ってくる)。その時々により、指導・判断の違いで、一部のごみが出せない時がある。これは、徹底できないものか)**

家庭での話し合い(奥さんからご主人にも)の中で分別を徹底してほしい。(担当部) (S・K)

## 市長との懇談会—②

今年5月、やっと待ちに待った『議会だより』が創刊され、我が市の行政が一步前進した想いを強くしました。

これまで私が我が町「重信」の議会を知る情報源は、初の女性議員だった元議員、諸伏さんが個人で発行されていた“議会だより”でした。ホームページで情報を流されても、以前の情報は新しくなく、現在進行ではありませんでした。それも今は随分改善されましたが……。また、『議会だより』がでることによって興味を引く情報だけを、パソコンでより詳しく見ることもできます。

そうして見た『議会だより』の中に、英語教育や総合給食センター新設などの質疑応答があり、私は興味をもちました。・・・**国が進めている小学校における英語教育をどう考えるのか?**の質問に教育長が「小学校の間は英語で挨拶ができる程度でいいと考えている」と回答しています。私もその意見に賛成ですが、市長の考えを聞きたいと思いました。市長の答えは明瞭でした。小学生には、英語よりまず母国語教育が肝心、と考える私達の意見と同じでした。

市は総合給食センター新設を進めています。これについて教育長答弁に「食育を学校教育の課題とし、地元産食材の利用に取り組みたい」とありました。このことに関して、ホームページで議員による視察報告を見ました。2006年1月20日の報告です。熊本県の玉名市と人吉市の給食センター視察は、地元産食材を積極的に利用しているとして行われたようですが、**「地元産」の解釈に疑問を持ちました。両市は、県内産=地元産としているとありました。東温市でもこの考えなのか聞きました。**担当部長及び市長は地元産は東温市産という認識でした。しかし、給食センターでは野菜を機械調理する為、曲がった胡瓜は使えないなど食育と逆行している側面があるようです。まずは、地元産のタマネギの利用を試しているところだということでしたが、センターの職員にも食育を進める市の姿勢を理解してもらい、地元産の食材の活用を推し進めていってほしいと思いました。

**下水道工事の進捗状況について聞きました。**加入状況は旧重信・川内共、市の目標を100%充たしているとのことでした。取りあえず安心したものの工事は来年度までは国からの補助がつくので精力的に進め、その後は状況を見ながら進めるとのことでした。しかし、下水道はなるべく早い段階で市全体が整備されないと、やり始めた意味がありません。今後の工事状況に私達も注意しながら見守ることが必要だと思います。

今回の市長懇談会は、限られた短い時間の中で丁寧に受け答えしていただき市の行政に希望を見いだした思いでした。これからも、住民の一人として疑問に思うことや分からないことは、市に聞いてみようと思いました。たくさんの住民の声が行政を動かすこともあります。東温市は住民の意見に素直に耳を傾ける市である、と誇りを持てる市であってほしいと私は思います。

(R・D)

高須賀市長との面談での質問<ゴミに関して>-③

2005年度プラスチック製容器包装ゴミ品質調査結果によると(愛媛新聞5月11日付)東温市はDランクと最低の評価を受けてしまいました。そこで、市長との面談時の質問事項にこの事を入れてもらいました。

★どうしてこの様な結果になったのか現状が知りたい。

プラスチック容器包装比率が85%以上無いとDランクになる。

食品で汚れたものが入っている(マヨネーズ容器・ラップ類)

ラップの箱から外した金具

★この結果を受けて東温市はどうするのか。

広報などでゴミの正しい分別を市民の皆さんに理解と協力をお願いする事。 ※広報とうおん7月号P13を御覧下さい※

★私たち市民はどうしたらいいのか。

きちんと正しい分別をする事しかない。

★その他に出た事

・資源ゴミ当番に男性が多くなった。

・ “ ” の人によって分別方法に違いがあって困る。(例として、古着は可燃ゴミか粗大ゴミか 分別表では可燃ゴミ)

・家庭に配布されている「家庭ゴミの分別と正しい出し方」が古くなっているの新しい物の配布予定はないのか?と、生活環境課で尋ねると、来年当たり詳しく作り直したものを配布する予定との事です。

★話の中で気になったこと

「包丁で切らない野菜」カット野菜を推進すれば、加工場が出来雇用が増え、増税につながる(他行政市長の発言)が、私は思うのです。

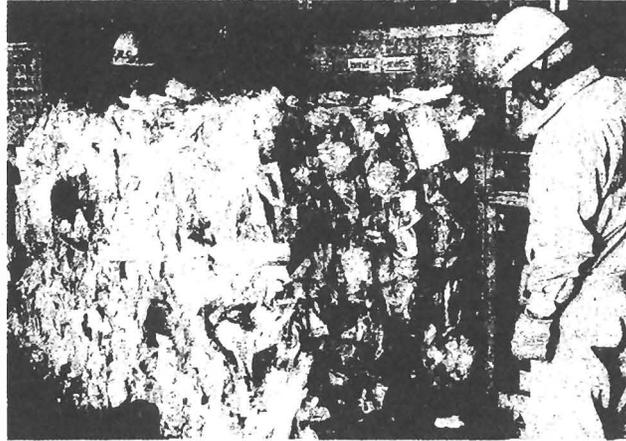
家庭菜園で慈しみ育てた野菜を収穫し、家族のために料理を作る。こうした事を子供に見せることで、心や体を育てる家庭での教育になるのではないかと考えています。一人住まいや多忙な時など、便利だとは思いますが、環境面・衛生面を考えても、私は利用しないでしょう。A/M

2005年度プラスチック製容器包装ごみ品質調査(県内分)

(日本容器包装リサイクル協会調べ)

自治体	保管施設	品質評価判定 (総合)	外観目視 評価	プラ製容器包装比 率評価(%)	危険品の 混入
松山市	松山容器	D	B	55.20%	無
	中島リサイクルセンター	D	B	59.10%	有
八幡浜市	市環境センター	A	A	98.41%	無
	保内町環境衛生センター	B	B	97.98%	無
東温市	松山容器	D	B	75.20%	無
松前町	松山容器	D	D	81.20%	有
愛南町	環境衛生センター	A	A	99.89%	無

(※全体から異物混入比率を差し引いた比率)



# 松山市の処理 最低評価

## 純度低く危険物混入

### 容リ協05年度調査 改善を要求

日本容器包装リサイクル協会東支が全国で実施した二〇〇五年度プラスチック製容器包装ごみ品質調査で、松山市が特に問題があると判定され改善計画の策定実施を求められていたことが十一日までに分かった。協会は自治体名を公表していないが松山市と同様の措置を求めたのはほかに全国で三自治体だけとしている。(3面に関連記事)

調査は、分別徹底推進を目的に〇二年度から実施。昨年度は四月十日、九百二十七町村の同じく保管施設六百八十七カ所で行った。

判定対象は、各自治体で排出されたペットボトルを除くプラスチック製容器包装ごみ(コンビニ縮・梱包(こんぼう)した「ペール」の汚れ具合、ペール中のプラスチック製容器包装の純度、危険物・医療廃棄物混入の有無などの項目を三段階でチェック。項目評価を点数換算するなどして、引き取り品質基準を満たすA、品質向上が必要なB、抜本的改善が必要なDの三段階で総合評価する。

松山市清掃課によると、松山市内のごみ収集・選別業者でペール化されるプラスチック製容器包装ごみ

と、市内施設の調査は昨年夏、松山容器(南吉田町)と中島リサイクルセンター(中島大浦)で市職員が立ち会って実施。ともに同容器包装の純度(プラスチック製容器包装比率)が低く、同センターではライターなどの危険物の混入が見つかった。両施設とも総合評価はDとなり、松山市排出分として特に問題があるとは指摘された。

県内の調査対象は協会のリサイクル制度に基づいて処理している五市町の七施設。松山市以外では、総合判定は八幡浜市の八幡浜市環境センターがA判定、保内町環境衛生センターがB判定、南宇和郡愛南町(町環境衛生センター)はA判定、Dは松山容器に集められた東温市と伊予郡松前町の排出分だった。

全国では総合Aが71%、B17%、D12%。協会はAとDの格差が拡大していると分析。特にDランク内の品質低下傾向が著しいと見ているほか、危険物、医療廃棄物の混入の報告が増えているという。四国の県庁所在地は高松市と高知市がA、徳島市はDだった。

県内自治体のプラスチック製容器包装ごみの処理は、西予市が本年度から、同協会経由でリサイクル。他自治体は、焼却処分や固形燃料(RFD)化するなどしている。

## ミュージカル「坊っちゃん」を観劇して

せっかく地元でできた文化施設だし、一度は見ておこうと観劇してきました。坊っちゃん劇場の広さは、最後列から舞台まで約22mと近い。私の席は前から5列目で、役者の熱気や息づかい、音響側からの声と生の声が聞こえ、汗まで飛んできそうな席だったせいかな、ドブプリ入り込んでしまった自分に驚きました。

馴染みの人物を演じている、役者の個性豊かなこと。坊っちゃんはWキャストで細身の坊っちゃんは若々しくてステキでした。マドンナは声の張り・歌のうまさ、素晴らしい歌声に聞きはれてしまいました。学生役の8人の躍動感あふれるダンスや歌声も良かったです（東温市出身の土井君と言う役者が入っている）一人二役の校長と清の変貌にビックリ。特に私は清のファンになってしまいそうです。チョットした細工があちこちにちりばめられていて、1時間40分ノンストップだったのですが、笑ったり、ビックリしたり、ホロっとしたり、アッという間でした。フィナーレの全員での歌は、感動をもっと大きくしてくれるものでした。約一年間300公演を予定しているので、再度行ってみようと思っています。

NHK教育テレビ「劇場への招待」で放映されたのも見たのですが、全く別物でした。劇場に足を運び、体と心で感じたものの素晴らしさを改めて認識しました。

高須賀市長との面談時に、市長は「坊っちゃん劇場」東温夢倶楽部の会長で応援団長として、住民の多くの皆さんに観てもらいたいと熱く語っていました。岡本太郎『明日の神話』との関わり・『坊っちゃん劇場』オープン・映画『となり町戦争』ロケと、今年、東温市は「文化・芸術元年」として、大いに盛り上がりアピールして行きたいとも言っていました。＊広報とうおん7月号P29に、ミュージカル「坊っちゃん」

観劇のお得情報が載っています。＊

A/M



坊っちゃん劇場  
2006年  
4月完成

「坊っちゃん劇場」オープン第一弾  
わらび座ミュージカル「坊っちゃん!」

前売料金  
( )内は当日料金

S指定席 3,500円 (3,800円)

A指定席 一般 3,200円 (3,500円)

ご予約は  
お電話で  
OK!

A指定席 小・中 1,500円 (1,800円)

B指定席 一般 2,700円 (3,000円)

※表示金額は  
すべて税込みです。

B指定席 小・中 1,400円 (1,700円)

お得な観劇セット

観劇 + お食事 + 入浴

4,800円～(小・中 3,000円～)

- 温泉 利率にてご予約に応じてお料理のコースをお選びいただけます。
- S指定席をご希望の際はプラス300円となります。



2007年公演日程					
1月					
1 土 14:00	2 水 14:00	9 土 14:00	1 日 14:00	1 水 14:00	1 金 14:00
18:30	3 木 14:00	18:30	2 月 10:30	2 木 14:00	2 土 14:00
2 日 14:00	4 金 14:00	10 日 10:30	4 水 14:00	3 金 14:00	18:30
3 月 10:30	5 土 14:00	14:00	5 木 14:00	4 土 14:00	3 日 14:00
5 水 14:00	18:30	13 水 14:00	6 金 14:00	18:30	4 月 10:30
6 木 14:00	6 日 14:00	14 木 14:00	7 土 14:00	5 日 14:00	6 水 14:00
7 金 14:00	7 月 10:30	15 金 14:00	18:30	6 月 10:30	7 木 14:00
8 土 14:00	9 水 14:00	16 土 14:00	8 日 14:00	8 水 14:00	8 金 14:00
18:30	10 木 14:00	18:30	9 月 10:30	9 木 14:00	9 土 14:00
9 日 10:30	12 土 14:00	17 日 14:00	11 水 14:00	10 金 14:00	18:30
14:00	18:30	18 月 10:30	12 木 14:00	11 土 14:00	10 日 10:30
12 水 14:00	13 日 10:30	20 水 14:00	13 金 14:00	18:30	14:00
13 木 14:00	14:00	21 木 14:00	14 土 14:00	12 日 10:30	13 水 14:00
14 金 14:00	14 月 14:00	22 金 14:00	18:30	14:00	14 木 14:00
15 土 14:00	18:30	23 土 14:00	15 日 14:00	15 水 14:00	15 金 14:00
18:30	15 火 14:00	18:30	16 月 10:30	16 木 14:00	16 土 14:00
16 日 14:00	16 水 14:00	24 日 10:30	18 水 14:00	17 金 14:00	18:30
17 月 10:30	18 金 14:00	14:00	19 木 14:00	18 土 14:00	17 日 14:00
19 水 14:00	19 土 14:00	27 水 14:00	20 金 14:00	18:30	18 月 10:30
20 木 14:00	18:30	28 木 14:00	21 土 14:00	19 日 14:00	31 日 18:30
21 金 14:00	20 日 14:00	29 金 14:00	18:30	20 月 10:30	
22 土 14:00	21 月 10:30	30 土 14:00	22 日 10:30	22 水 14:00	
18:30	23 水 14:00	18:30	14:00	23 木 14:00	
23 日 10:30	24 木 14:00		25 水 14:00	24 金 14:00	
14:00	25 金 14:00		26 木 14:00	25 土 14:00	
26 水 14:00	26 土 14:00		27 金 14:00	18:30	
27 木 14:00	18:30		28 土 14:00	26 日 10:30	
28 金 14:00	27 日 10:30		18:30	14:00	
29 土 14:00	14:00		29 日 14:00	29 水 14:00	
18:30	28 月 10:30		30 月 10:30	30 木 14:00	
30 日 10:30					
14:00					

※公演日時は、やむをえず変更になる場合がございます。あらかじめご確認ください。 ●2007年2月・3月も公演あります。

## 感 應

嵐の様な梅雨入り後、間も無くの早朝の激しい揺れ。近いと言われて  
いる“東南海地震”を、現実のものとして感じています。我家では、一  
日分の水と保存食を車の中に備え、毎年私の誕生日に、新しい物と交換  
することにしています。災害時には、何でも我慢できると思うのですが、  
平常時に入れかえる時、カンパンは辛いので、缶詰のパン、カレー、シ  
チュー、レトルトのごはんを用意しています。誕生日に、一年間の無事  
を感謝して非常食をいただいています。短絡的で衝動的な凄惨な事件や  
信じられない悲しい事故が多過ぎる昨今、平穩に暮らすことのできる幸  
せを感じています。

設計のミス、機械の故障、人間の不注意を限り無くゼロに近づけるこ  
とはできても、“ゼロ”にすることは不可能であることを思う時、今、各  
方面で議論されている、伊方原発へのプルサーマル導入には“ヒロシマ”  
で生まれ育った私はどうしても拒絶反応をおこしてしまい、原発の存在  
そのものを、いまだに受け入れることができません。1986年、旧ソ連で  
おきたチェルノブイリ原発事故は今なお解決されていません。この事故  
を教訓にヨーロッパ諸国は脱原発に向かっているといえます。

過去の不幸な出来事から学ぶことこそ大切なことだと思ふのです。何  
年前になるでしょう。平成の大合併が話題になり始めていた頃、県の自  
治体の規模はより小さく、県を無くして道州制を、と考えておりますの  
で、その旨申し上げ、過疎地の自然こそ守るべきものであり、そこに住  
む人達へ手厚い支援を、と発言しましたところ“非効率的である。奥さ  
さんは、30年前の生活に戻れますか”と語気を荒げて言われ、私はその勢  
いに怯んでしまい、黙ってしまったことを今も後悔と共に鮮明に思い出  
します。“戻れます、と言うより戻りたいのです”と即答できなかったこ  
とが今も悔やまれてなりません。エコロジカル、フットプリントによる  
と、世界中の人々が現在の日本人並の生活を続ける為には、2、4個分の  
地球が必要だといえます。無理に決まっています。その無理を通す為に、  
ありとあらゆる新しいエネルギー源を模索していますが、使う量を減ら

すことをもっと真剣に考える時が来ているのではないのでしょうか。今の便利さの中で生まれ育ってきた若い人達や子供達にとって、今ある物を手離してしまうことは、不安で怖いことに違いありません。でも私達は、家電品のほとんどが無かった頃の生活を知っています。世の中、皆貧しかったけれど大人達に守られている安心感の中で日々を過ごしたものでした。そんな昔を知っている私達から、今の便利さを少しづつ手離すことを実践しなくては、と思います。チェルノブイリ事故の頃、旧ソ連で生活した経験のある友人がいます。今一度、彼女の話を知りたいと思っています。

このところ、国に対する訴訟が後を絶ちません。戦後国策として行われた移民事業、公害、薬害、監督責任に対する訴訟が毎日の様に報じられています。国の責任を明確にすることは必要ですが、国の責任の有無に関らず、個人が何の落ち度もないのに不幸を背負い込んでしまった時、手を差し伸べ、支援するのが国のあるべき姿だと考えます。国民が国を訴えなくてはならないことは、とても不幸なことだと思えます。国民の集まりが“国”である筈なのに何故か国民と国とが全く異質の、相反した存在の様な感じがします。正しく国民に目を向け、国民の安心と安全を第一義とする為政を願ってやみません。原発のこと、何故か歳出削減として真先に出てくる福祉の切り捨て、BSE問題、野放し状態とも思える多くのサプリメントの類のこと、もっと、もっと真剣に考えてほしいのです。財政難を安易に少子高齢化のせいばかりしないでほしいのです。真の無駄遣いこそ改めて欲しいのです。為政者が真に国民に目を向け、真剣になれば、自ずと、国を愛する心も生まれ、この国で子供を産み育てようと思えることが出来ると思うのです。

梅雨の晴れ間、我が家をとりにく蓮根田の周りでは、父親に連れられた子供達が網を片手に歓声をあげています。目を凝らすと沢山のメダカ、ミズスマシ、アメンボ等を見つけることが出来ます。子供達に交じって白鷺も遊んでいます。年々、自然も人の心も荒々しくなっている感じがあります。どうぞ、こんな穏やかな光景がいつまでも続きます様に。

(O・K)

東温市内で二〇〇五年七月から続けられていた芸術家、故岡本太郎氏の巨大壁画「明日の神話」（縦五・五メートル、横三十メートル）の修復作業がこのほど完了、今月十七日にも愛媛を離れる。原爆がさく裂する瞬間を描き、修復前約百ピースに分解されていた壁画は愛媛で一つにつながった。壁画修復は愛媛にどのような影響を与え、修復を「呼び水」にどのような動きが起きたのか。十一カ月間の軌跡を振り返る。

修復完了を目前に控えた五月下旬、作業を陣頭指揮する絵画修復家、吉村絵美留さん(五三)＝東京都三鷹市＝は感慨深げにこう語った。「短期間で、よんここまで直った」。その後しばらく、言葉にならなかつた。愛媛入りした時の壁画は、

儼なくされた。壁画のダイナミックさとは対照的に、修復は緻密(ちみつ)な作業の積み重ねだった。道具も医療用メス、ピンセット、ルーペ、電子顕微鏡、綿棒などを使用。芸術というより科学の世界に近い作業内容だった。

修復チームが全工程の中で一番手こずったのは「洗浄」。壁画は雨水やほこりに長年さらされ、かなりの汚れが付着していた。しかも水溶性アクリル絵の具で描かれているため、色落ちしてしまう溶剤は使えない。綿棒に純水をつけて試みたが頑固な汚れには歯が立たない。最後の頼みで、分子が小さい超純水を使ったところ、汚れの中に食い込んで効果が出た。

「明日の神話」岡本太郎氏が1968、69年にメキシコで制作後、30年以上行方不明になり、2003年9月にメキシコ市郊外で見つかった。「太陽の塔」と同時期の作品。05年6月に航路、日本入りし、同年7月16日から東温市で修復されていた。

## 異例のスピード「手術」

### 壁画裏面に熱意の軌跡

かなり色あせ、穴落ちもある状態。約百ピースに分解され、ジネスーパーのような状態。これまで多くの岡本作品の修復を手掛けてきた吉村さんにとっても「教科書」のない手探りの作業。吉村さん率いる修復チーム五人は試行錯誤の連続だった。

壁画の規模や損傷状況を考えて、「通常三～五年はかかる作業」＝「明日の神話」再生プロジェクトゼネラルプロデューサーの平野晴臣さん(四七)。しかし、〇六年七月～八月の二カ月間、東京・汐留の日本テレビで修復後のお披露目展が開かれることになり、スケジュールを逆算。十一月までのスピード修復を求め



東温市入り後、初公開された修復現場。壁画は分解され、裏面を上にして修復台に置かれた＝2005年8月4日、東温市南方

再生プロジェクトに賛同する善意の人たちの支援が進められた今回の壁画修復。時間、費用ともに、かなりの制約があった。そんな中、修復チームは日曜以外は作業に没頭。この粘り強い踏ん張りど熱意が、最短期間での修復を可能にした。(生活文化部・飯尾 聖、白川 亜子)

# つながったピース

「明日の神話」修復完了

再生

# つながったピース

「明日の神話」修復完了

中



修復現場を訪れ、壁画と対面した味酒小の児童。作業に熱心に見入り、スタッフにも積極的に質問していた—2006年2月21日、東温市南方

## 反応

「明日の神話」の愛媛での修復は、外から持ち込まれたプロジェクトだった。「愛媛という場所に特別な意味があったわけ

ではない」「明日の神話」再生プロジェクトゼネラルプロデューサーの平野暁臣さん(西)。ただ修復期間中、壁画が愛媛に来

た。メルをやりとりするうち、児童の熱意に打たれた平野さんが修復現場の見学を提案、今年二月に実現した。

修復現場では、子どもたち百五十一人の感嘆の声が渦巻き、壁画を食い入るように見る姿があちこちでみられた。子どもの依頼で事務局にメールを送った同小教諭の石田年保さんは「自分たちが動き、働きかければ、何かができる」ということを体験

してきた。児童一人一人の胸の内に大きな何かが残ったはず」と振り返る。「壁画が愛媛に来ている間に何かできないか。修復が終わるのを、このまま黙って見過ごすわけにはいかない」。日増しに強まる思いを「爆発」させ、「明日の神話」完成への道展」(四月十五日～五月二十八日)を主催。地元ギャラリ、高校生、専門学校生などを巻き込み、市民レベルで壁画への関心が高まった。

加。「壁画修復が愛媛のアート界にどのような影響を与えたか」を主題に活発に議論を交わした。カコアは三月二十五日の一日限り行われた修復現場の一般公開のボランティアスタッフにも名乗り出た。公開当日は、そろいのジャンパーを着たスタッフ約十人が、抽選で選ばれた県内在住七百五十八人を誘導するなど会場を奔走した。花開いた」となるのか…。

## わずかにシンポ・見学

### 行政静観 広島と好対照

民間側が真摯(しんし)な動きを見せる一方で、「愛媛県を舍めた官側は結果的に何もしなかった」という声が、県内外のあちこちで聞こえたのも事実だ。対岸の広島県では、広島市が運営する広島市現代美術館が「明日の神話」完成への道展」(四月十五日～五月二十八日)を主催。地元ギャラリ、高校生、専門学校生などを巻き込み、市民レベルで壁画への関心が高まった。

# 未来

「まじか、こんな鮮やかな色だったなんて…。太郎の色そのものだ」。修復完了後の六日、東温市で報道関係者にお披露目された巨大壁画を前に、「明日の神話」再生プロジェクトゼネラルプロデューサーの平野曉臣さん(左)もは熱弁をふるった。十七日に愛媛を離れる「明日の神話」だが、どこに腰を落ち着けるのか、その恒久設置場所に注目が集まっている。

同プロジェクトが示す恒久設置の条件は三つ。誰もが出入り、壁画全体を見渡せるスペースがある、つまり公的な場所であること。壁画の前に立つだけではないところにあるべきだと直感的に思えるストーリーがあること。そして壁画を未来永劫(えいじゅう)大切にする気持ちがあること。平野さんは「条件をすべて満たせばいい」と言っている可能性があると強調する。

実際、すでに市民レベルで誘致運動を展開している地域も見られる。壁画のサブタイトルになっている原爆被災地の広島市と長崎市だ。が、協力が欠かせない行政には温度差がある。広島市文化スポーツ部の「メッセージ性においても設置場所に良い。具体的な場所や費用、維持費などを含め検討中」との言に対し、長崎市平和推進室は「展示施設の確保や管理の問題などから、現段階では難しい」と語る。

## つながったピース 「明日の神話」修復完了

「大阪万博のシンボル・太陽の塔と対して展示しては」と、大阪府吹田市の名も浮上したが、広島・長崎ほどは盛り上がりがない。川崎市岡本太郎美術館にも、設置を勧める周囲の声があるが、館長の村田慶之輔さんは「誰もが見られる条件に当てはまらず、大きな問題もある。予算的にも難しい」と話す。

愛媛には誘致の動きはなく、県文化振興課も「収容場所がないなどの理由から、今のところ考えていない」という。しかし、岡本太郎記念現代芸術振興財団理事でミウラト・ウィレッシ副館長の本浄嘉章さん(左)は「今回の修復で、県民にとって岡本太郎が身近な存在になったのは間違いない」と力説。「明日の神話は始まったばかり。壁画が愛媛を出たからといって、おしまいではなく、今から動いても遅くない」と言い切る。

東京・汐留の日本テレビ本社前広場で七、八月に一般公開された後、「明日の神話」は都内の倉庫で再び眠りにつく。移動にリスクが伴うため、次は、岡本氏生誕百周年の二〇一一年までをめぐり決まる恒久設置場所で見られる。しかし、壁画がどこへ向かおうとも、壁画に込められた岡本氏の平和への願いは未来、そして愛媛へと確実につながっている。大事な今は今回の修復がもたらしたつながり、を今後どう生かすかだ。

(生活文化部・飯尾聖、白川亜子)

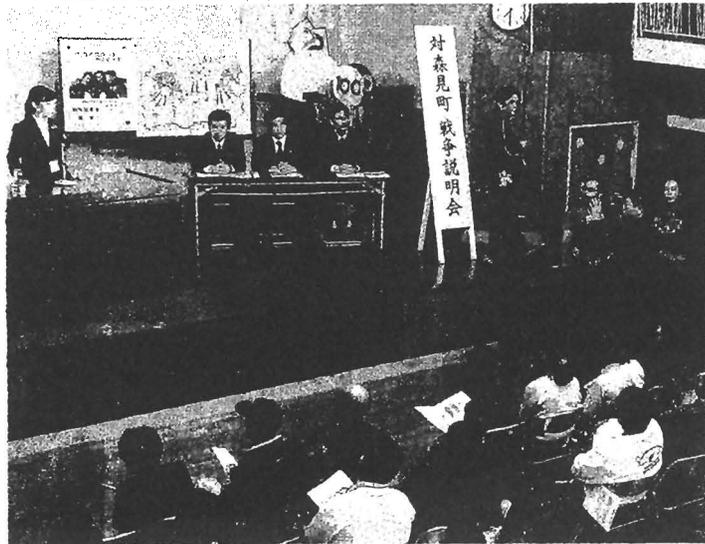


色鮮やかによみがえった「明日の神話」  
11日、東温市南方

愛媛の縁どう生かす 恒久設置誘致に注目

2006年5月29日(日) 2006

東温市の「となり町戦争推進班」班員も町職員役として出演したロケ＝23日、同市則之内



15日から県内オールロケで撮影中の映画「となり町戦争」。メインロケ地の東温市では市が各課横断の支援組織「となり町戦争推進班」を編成、エキストラ募集やロケ隊への食事サービスなど幅広く活動している。市町村が庁内横断組織をつくりロケを支援するのは全国的にも珍しいとされ、関係者から注目を集めている。

## 東温・「となり町戦争」ロケ

同班は四月末、産業創出課など七課の職員十六人で編成した。県内で映画やテレビのロケが行われる場合、地元市町の支援は通常、観光担当課の職員による道路や公共施設の使用許可申請やロケ時の交通整理などが中心。だが同班はほかに、市民エキストラ募集▽江口洋介さんふんする主人公が運転する車として公用車の貸与▽ホワイトボードや懐中電灯などの資材調達▽食事場所や控室準備なども展開。班員自ら「町職員」役で出演もし、連日遅くまで奔走している。

# 舞台裏 市職員の汗光る

## 資材調達や食事サービス 各課横断で支援

班編成の背景には、「観光を担当する産業創出課の課員が五人と少ない一方、ロケがハードスケジュールと聞いていたので各課に協力を要請した」（班長の山内一正産業創出課長）との事情もあるが、文化による地域活性化やPRを目指す市の考えが根強くある。こうした市の取り組みは、県内の映画関係者にも好評。

同班とともにロケを支援している特定非営利活動法人（NPO法人）アジア・フィルム・ネットワークの福岡晋也代表理事（同）は「従来では考えられない取り組み方。行政の積極的なかわりは今後のロケ誘致活動にも加勢になる」と歓迎。県の支援組織えひめフィルム・コミッション（FC）事務局の泉谷昇さん（同）も「ロケ支援の新たなモデルケースになるかもしれない」と期待する。

ロケ日程は約半分を消化。山内班長は「クリエイティブの最先端を行く民間との共同作業は職員にとっても良い経験。推進班はロケ終了とともに解散するが、さまざまな成果を過性のものに終わらせないよう努力したい」と話している。

# 需要伸びるヤシ油

2006年  
5月25日 2nd

植物由来の油脂として「環境に優しい」と宣伝されること多いヤシ油（パーム油）。最近ではガソリンの代替燃料としても注目され、需要は伸びる一方だが、油を取るための農地の拡大が東南アジアでの熱帯林破壊の一因とされていることは、日本ではあまり知られていない。

現地では、農薬の大量使用や低賃金労働などの問題点も指摘され、日本の環境保護団体は「パーム油ならばすべて環境に優し」と、誤解を招くような宣伝はやめて」と企業に働き掛けている。

パーム油は、アブラヤシというヤシ科の植物の果実を搾って製造する。日本では洗剤向けが知られているが、アイスクリームやマーガリンの原料、スナック菓子の揚げ油としての用途が最も多いという。

インドネシアやマレーシアで生産が急増中で、米農務省によると2000年には約二千二百八十万トだった両国の生産量は今年は約

## 熱帯林破壊の一因に 「環境に優しい」に異議も

三千三百三十万トに増え、大豆油を抜いて、植物油ではトップの生産量となる見通し。だが、生産の拡大とともに、さまざまな環境、社会問題が指摘されるようになった。

地球・人間環境フォーラムやFoE（地球の友）ジャパンなどの保護団体は四月、アブラヤシ農園の映像

とともに、パーム油を主成分にした洗剤を「環境に優しい」とPRするアレヒョCMの内容修正を、発売元のライオンに求めた。

同フォーラムの満田夏花さんは「パーム油の原産地で、環境問題や人権問題を引き起こしているケースがあるにもかかわらず『環境に優しい』というのは消費者の誤解を招く」と批判する。

これに対しライオンは「植物原料を使うことが二酸化炭素の排出抑制を通じて地球温暖化防止に貢献する。」

「こんな議論について、マレーシアの森林問題に詳しい専門家、農園拡大のための違法な森林伐採が横行、絶滅が心配されるオランウータンやアジアゾウの生息を圧迫していることを指摘。『搾油工場の汚水で河川は汚れている。パーム油が環境に優しいなんて言わないでほしい』と言う。

パーム油洗剤を扱う企業の中にも「パーム油イコール環境に優しい」と一面だけで語る設備ではない（大阪市サラヤ）と、現地の環境保全活動への協力などを始める企業も現れた。

満田さんは「企業には環境保全に配慮した原料の調達に努力する責任がある。消費者も実態を知り、問題解決の道を一緒に考えてほしい」と話している。



広大なマレーシアのアブラヤシ農園  
(地球・人間環境フォーラム提供)

### 今治例会のおしらせ

7月11日（火）9：00  
林さん宅へ集合し今治へ行きます。  
市民の森で睡蓮を楽しみましょう

くらしの学習では、随時会員を募集しています。  
活動会員 2,000円/年 購読会員 1,000円/年  
振込先口座番号（郵便局） くらしの学習会 01610-5-21026  
問合せ先 TEL/FAX 089-964-6956  
E-mail: kt-hayashi@nifty.com